



オフィス(7階)。



4階のエキジビション・スペースは、四方がガラス張り。



外光をいっぱい採り入れた7階の廊下。



カナダ・ガーデンの日本庭園(4階)。



カナダ・ガーデンに立つイヌイットの彫刻「イヌクシック」。

## オフィスと公共施設

このように、新庁舎は3つの部分(大使館のオフィスと公共スペース、それに賃貸部分)から成っているが、大使館と賃貸部分は出入口が異なっているだけでなく、建物内でも完全に分離されている。ここでは大使館の2つの部分に限って説明しよう。

大使館に入るには、2つの方法がある。まず青山通りに面した通路を通り、右手の、透明なキャノピー(天蓋)をつけた屋外エスカレーターに乗って4階のカナダ・ガーデンおよびメン・ロビー(受付け)に直行する方法。もうひとつは、門からそのまま進んで、奥に位置した大使館正面玄関を通り、エレベーターで4階のロビーまたはエスカレーターで地下2階に行く方法である。

屋外の直通エスカレーターに乗って、4階で降りると、そこがカナダ・ガーデンだ。エスカレーターを降りて、大西洋からカナダ橋状地、大平原、北極へと歩を進めると、眼下に高橋是清記念公園が、そして彼方に赤坂、永田町などが広がる。人間の形に石を積み重ねたイヌイットの彫刻イヌクシックに見守られながらマッケンジー山脈そしてロッキー山脈へ進むにつれて、紀尾

井町の高層ホテル、樹木の生い茂る元赤坂(赤坂御所)や新宿御苑、さらに遠くに新宿新都心のビル群が一望できる。「旅」は太平洋を渡って、カナダ橋状地の反対側にある日本庭園で終わる。

大使館用事のある人は、4階の入口からメン・ロビーに進む方法もあるが、1階の大使館入口には各階の説明や館内のイベントを紹介するディスプレー・パネルが備えてあるので、そちらが便利だ。劇場やギャラリー、リサーチ・ライブラリーに用のある人は、1階からそのままエスカレーターで地下2階へおりる。4階の展示・宴会場、あるいは5階以上の事務所に用のある人は、直行エレベーターで4階へ進むことになる。

5階以上には、大使室のほか、政治部、経済・金融部、商務部、投資振興室、科学技術室、広報・文化部などがあり、4階の受付

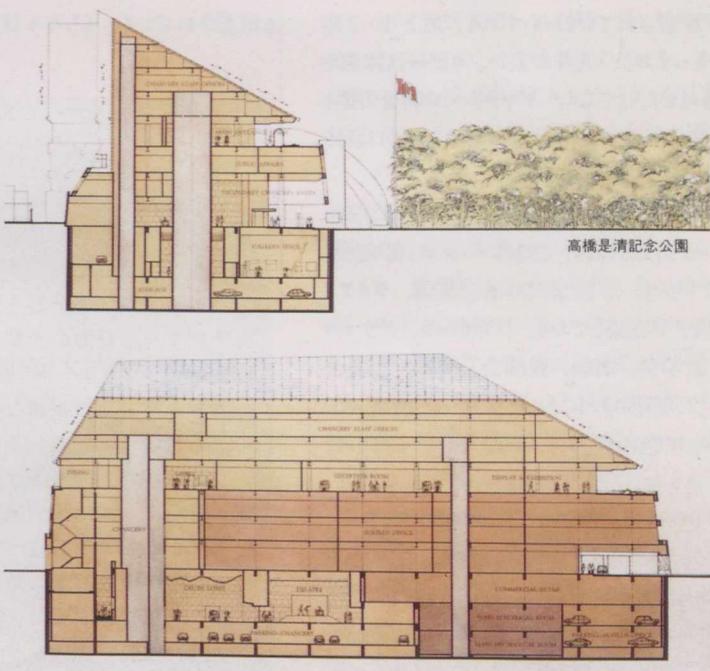
けで来意を告げると、担当者や秘書が迎えにきてくれるようになっている。査証部は2階、関税部は5階、領事部は3階、そしてトラベル・インフォメーションは、4階と5階にある。

4階は、カナダ・ガーデンに囲まれた総ガラス張りの大展示・宴会場になっている。ホテル並みの立派な調理場が用意されて、カナダの食品展とともにカナダの材料を用いた料理の実演・試食ができるほか(会場では、大きなモニターテレビでシェフの料理する模様が見られ、300人=立食形式だと800人=の宴会が開催できる)、各種の物産展、美術展、投資セミナーなどの会場にも適している。3平米のブースが約30設置できるし、会場をさまざまに区切ったりすることもできる。テラスを利用すれば、さらに大きな展示会やレセプションが開ける。

同じ4階には、「大西洋」に面して、特別ゲスト用のダイニングルームもおかかれている。



4階正面玄関の扉と明かり取り窓は、1930年代に建てた前庁舎のものを使ってある。



新庁舎の断面図。4階から8階までと地下2階が大使館。1~3階は賃貸部分。駐車場は地下3階にある。